



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈祷会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈祷会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 叫

◎石叫■

「ゆりかごの猫」

左記の詩は、ハリー・チャップリンがギターの調べに合わせて、人生の妙味を歌い上げたものだ。ラジオの番組「フォーカス・オンザ・ファミリー」でJ・ドブソン博士が、かつて読んだこの詩を、今回、日本の友人の書庫で見つけた。

子供がついにこの間生まれきた。ごく当たり前に生まれきた。私は飛行機にとび乗ったり、請求書を書いたり忙しい毎日。子供は留守の間に歩き始め、知らぬ間に話し始めた。成長したらよく口にしたものだ。「僕、パパのようになるんだ。きつと、パパのようになるんだ」。猫はゆりがご、銀のさじ。青い人形に、月人形。「パパ、いつ帰ってくるの?」「わからないね。でも帰った時は遊ぼうね。楽しくやろうね」

息子は先日、十歳になった。「パパ、ボールありがとう。ねー、遊ぼう。投げ方教えてくれる?」「今日は駄目なんだ。することがたくさんあるんだよ」「わかったよ」と向こうに行く息子の微笑みは明るかった。「僕、パパのようになるんだ。きつと、パパのようになるんだ」。猫はゆりがご、銀のさじ。青い人形に、月人形。「パパ、いつ帰ってくるの?」「わからないね。でも帰った時は遊ぼうね。楽しくやろうね」

息子は先日、大学から帰ってきた。みちがえるほど、たくましくなり、私は思わず言った。「誇りに思うよ。ちょっと座らないか?」。息子は首を横にふり、微笑んだ。「実は、車の鍵を借りたいんだ。あとでね。ね、いいでしょう。お願い」「いつ帰ってくるんだい?」「わからないよ。でも帰った時は遊ぼう。楽しくやろう」猫はゆりがご、銀のさじ。青い人形に、月人形。

私は退職し、息子も家を出た。先日、息子に電話した。「できれば会いたいね」「うん、時間があつたら会いたいね。でも、新しい仕事が大変で、それに子供が流感なんだ。でも電話で話せてうれしかった。とても楽しかったよ。電話を切つて、私はふと思った。息子は成長し、私とそっくりになった、と。

パウロは、「父たる者よ、子供をいらだたせてはいけない。心がいじけるかも知れないから」(コロサイ三・21)と説くが、私自身、この文を読んで心が痛む。何よりも優先されなければならないのは家族なのに! 僕自身も父たちがしてきたような生き方を、知らずに子供たちに強いてきたのだと、ふと思つた。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

